

2020年度用 教員の情報公表内容

- (1)氏 名 : 盆子原 秀三 (ボンコハラ シュウゾウ)
- (2)職 名 : 教授 理学療法学科長
- (3)学 位 : 博士(保健医療学)
- (4)資 格 : 理学療法士
- (5)担当科目 : 人間関係実践演習Ⅲ 基礎整復総合演習Ⅰ,Ⅱ リハビリテーション医学
臨床運動学実習 応用運動療法学 理学療法治療学演習 理学療法特講Ⅱ
臨床教育実習Ⅰ(3年次) 臨床教育実習前期(4年次) 臨床教育実習Ⅱ後期
(4年次)
- (6)研究テーマ
- ① 観察による歩行分析の熟練度について
 - ② 混合研究法による行動観察
 - ③ 老年期の理学療法
- (7)研究業績等
- ① 著書『印象から始める歩行分析』(共著) 医学書院 2018年11月
 - ② 著書『筋学ハンドブック』(共著) 医歯薬出版 2014年6月
 - ③ 訳書『観察による歩行分析』(共訳) 医学書院 2005年6月
- (8)所属学会・団体
- ① 日本理学療法士協会
 - ② 臨床歩行分析研究会
 - ③ 国際混合研究学会(MMIRA)日本混合研究法学会

2020年度用 教員の情報公表内容

(1)氏 名 : 加藤 宗規 (カトウ ムネノリ)

(2)職 名 : 教授 理学療法学科副学科長

(3)学 位 : 博士(保健医療学)

(4)資 格 : 理学療法士

(5)担 当 科 目 : 運動学実習 理学療法カウンセリング 人間関係実践演習Ⅱ
神経障害理学療法学演習 理学療法特講Ⅱ
理学療法研究法特論 卒業課題研究 臨床教育実習Ⅰ
臨床教育実習Ⅱ前期 臨床教育実習Ⅱ後期

(6)研究テーマ

- ① 筋力測定
- ② 脳卒中片麻痺
- ③ 応用行動分析学

(7)研究業績等

- ① 著書『理学療法士・作業療法士のためのできる！ADL練習』（共著）南江堂 2016年6月
- ② 著書『PT・OT ビジュアルテクニスト神経障害理学療法学』（共著）羊土社 2018年3月
- ③ 著書『PT スタートガイド基礎理学療法概論』（編著）メジカルビュー社 2018年2月

(8)所属学会・団体

- ① 日本理学療法士協会
- ② 理学療法科学学会
- ③ 日本行動分析学会

2020年度用 教員の情報公表内容

(1)氏 名 : 武内 朗 (タケウチ アキラ)

(2)職 名 : 教授 学術情報センター長

(3)学 位 : 学士(社会学) 修士(健康デザイン学)

(4)資 格 : 理学療法士

(5)担 当 科 目 : 理学療法評価学Ⅰ 理学療法学概論 理学療法特講Ⅱ
神経系障害理学療法学実習 基礎運動療法学実習 日常生活活動学実習
臨床教育実習Ⅰ(3年次) 臨床教育実習Ⅰ(3年次発表会)
臨床教育実習Ⅱ前期(4年次) 臨床教育実習Ⅱ前期(4年次発表会)
臨床教育実習Ⅱ後期(4年次) 臨床教育実習Ⅱ後期(4年次発表会)

(6)研究テーマ

- ①健康成人の肩関節の制限と姿勢との関係
- ②成人片麻痺患者のヘルスプロモーション

(7)研究業績等

- ①著書『理学療法士 ポケット・レビュー帳 基礎編』(共著) メジカルビュー社 2009年8月
- ②著書『理学療法士・作業療法士ポケット・レビュー帳 基礎編』(共著) メジカルビュー社
2009年9月
- ③著書『PT スタートガイド 基礎理学療法概論』(共著) メジカルビュー社 2018年2月

(8)所属学会・団体

- ①理学療法学会
- ②日本ヘルスプロモーション学会
- ③日本ボバース研究会

2020年度用 教員の情報公表内容

(1)氏 名： 中 村 浩 (ナカムラ ヒロシ)

(2)職 名： 教授

(3)学 位： 博士(医学)

(4)資 格： 理学療法士

(5)担 当 科 目： 運動学Ⅱ、応用運動療法学、理学療法治療学演習、神経系障害理学療法学
実習、内部障害理学療法学、内部障害理学療法学実習、理学療法特講Ⅱ、
生活環境学、医学論文(英文)

(6)研究テーマ

- ① 下肢アライメントが姿勢、歩行に及ぼす影響(足部形態、体幹動揺の評価)
- ② 地域高齢者の健康増進および介護予防を目的とした理学療法の介入
- ③ ストレスと自律神経(呼吸および心拍変動)の関係

(7)研究業績等

- ① 論文 Relationship between the medial longitudinal arch movement and the pattern of rearfoot motion during stance phase of walking. *J.Phys. Ther.Sci.*15: 2002年11月
- ② 論文「スマートフォンアプリケーションを使用した関節可動域測定の信頼性と妥当性の検討ー画面の大きさ(スマートフォン, タブレット端末)の違いによる比較ー」(共著) 『了徳寺大学研究紀要』第13号: 2019年3月
- ③ 論文「健常若年成人男性におけるチルトテーブルを用いた部分荷重スクワットの生理学的応答」(共著) 『了徳寺大学研究紀要』第14号: 2020年3月

(8)所属学会・団体

- ① 理学療法士協会
- ② 靴医学学会
- ③ 理学療法科学学会

2020年度用 教員の情報公表内容

(1)氏 名 : 山田 洋一 (ヤマダ ヨウイチ)

(2)職 名 : 教授

(3)学 位 : 博士(保健医療学)

(4)資 格 : 理学療法士 介護支援専門員
公認身体障害者スポーツ指導員 福祉住環境コーディネーター2級

(5)担 当 科 目 : 整形外科系障害理学療法学 発達障害理学療法学総論 人間発達学
運動学実習 日常生活活動学実習 理学療法評価学Ⅱ、理学療法特講Ⅱ、
臨床教育実習Ⅰ 臨床教育実習Ⅱ(前期) 臨床教育実習Ⅱ(後期)

(6)研究テーマ

- ① 理学療法教育・管理
- ② 理学療法スキル(視線特性)
- ③ シミュレーション教育

(7)研究業績等

- ① 論文「理学療法士の自己認識から抽出した今後の育成課題」(共著)『理学療法科学』
27(4).385-389 2012年9月
- ② 論文「理学療法評価における視覚的分析能力の調査」(単著)『国際医療福祉大学大学院博士論文』2014年3月
- ③ 論文「脳血管障害片麻痺者疑似体験用装具の開発と歩行再現性について」(共著)『リハビリテーション教育研究』25.116-117 2019年3月

(8)所属学会・団体

- ① 日本理学療法士協会
- ② 理学療法科学学会
- ③ 日本ボバース研究会
- ④ 日本シミュレーション医療教育学会

2020年度用 教員の情報公表内容

(1)氏 名 : 荒巻 英文 (アラマキ ヒデフミ)

(2)職 名 : 准教授

(3)学 位 : 修士(リハビリテーション学)

(4)資 格 : 理学療法士

(5)担 当 科 目 : 物理療法学総論(実習を含む) 地域リハビリテーション理学療法学
機能能力診断学実習 整形外科系障害理学療法学実習 理学療法評価学 I
理学療法治療学演習 理学療法特講 II 臨床教育実習 I
臨床教育実習 II 前期 臨床教育実習 II 後期

(6)研究テーマ

- ① 骨格筋に関する研究
- ② 筋力測定に関する研究
- ③ 超音波診断に関する研究

(7)研究業績等

- ① 著書 『筋肉研究最前線 ー代謝メカニズム、栄養、老化・疾病予防、科学的トレーニング法ー』 (共著) エヌ・ティー・エス 2019年9月
- ② 論文 「ヒト骨格筋の反復伸張における筋肥大及び筋力増強効果の検証」 (共著)
理学療法科学学会 『理学療法科学』第30巻2号 2015年4月
2015年度 理学療法科学 優秀論文賞
- ③ 論文 Validity and reliability of isometric muscle strength measurements of hip abduction and abduction with external hip rotation in a bent-hip position using a handheld dynamometer with a belt (共著) *J. Phys. Ther. Sci.* 28(7) 2016年7月

(8)所属学会・団体

- ① 日本理学療法士協会
- ② 日本基礎理学療法学会
- ③ 理学療法科学学会

2020年度用 教員の情報公表内容

(1)氏 名 : 平野 正広 (ヒラノ マサヒロ)

(2)職 名 : 准教授

(3)学 位 : 博士(保健医療学)

(4)資 格 : 理学療法士

(5)担 当 科 目 : 内部障害理学療法学、内部障害理学療法学実習、整形外科系障害理学療法学実習、機能能力診断学実習、運動学実習、理学療法特講Ⅱ、臨床教育実習Ⅰ(3年次)、臨床教育実習Ⅱ前期(4年次)、臨床教育実習Ⅱ後期(4年次)

(6)研究テーマ

- ① 内部障害に関する研究
- ② 呼吸に関する研究
- ③ 筋力に関する研究

(7)研究業績等

- ① 論文 「健常若年成人男性におけるチルトテーブルを用いた部分荷重スクワットの生理学的応答 -傾斜角度に応じた酸素消費量と換気応答- 」(共著)了徳寺大学研究紀要第14号 2020年3月
- ② 論文 Validity and reliability of isometric knee extension muscle strength measurements using a belt-stabilized hand-held dynamometer: A comparison with the measurement using an isokinetic dynamometer in a sitting posture(共著) *J. Phys. Ther. Sci.* 32(2) 2020年2月
- ③ 論文 「最大口腔内圧法による呼吸筋力と身体機能との検討」(単著)国際医療福祉大学大学院博士論文 2018年3月

(8)所属学会・団体

- ① 日本理学療法士協会
- ② 日本臨床生理学会
- ③ 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会

2020年度用 教員の情報公表内容

(1)氏 名 : 一色 員子 (イッシキ カズコ)

(2)職 名 : 講師

(3)学 位 : 修士(理学療法学)

(4)資 格 : 理学療法士

(5)担 当 科 目 : 地域リハビリテーション概論 理学療法特講Ⅰ 理学療法特講Ⅱ 運動学実習
日常生活活動学 理学療法評価学Ⅰ 基礎運動療法学実習
臨床教育実習Ⅰ(3年次) 臨床教育実習Ⅱ前期(4年次)
臨床教育実習Ⅱ後期(4年次)

(6)研究テーマ

- ①変形性股関節症の理学療法
- ②CTを用いた筋断面積の評価について
- ③神経解剖学

(7)研究業績等

- ①論文 「片側下肢術後の動作障害に対する理学療法アプローチ」(共著) メディカルプレス
『理学療法』2010年1月
- ②研究報告 「THA前後における中殿筋と大殿筋の筋断面積の回復とJOA Hip Scoreとの関連
—CTを用いて—」(共著) 日本理学療法士協会 『理学療法学』39巻2号 2012年4月
*2010年理学療法士協会助成研究報告書
- ③著書 シンプル理学療法学・作業療法学シリーズ『人間発達学テキスト』(共著) 南江堂
2014年6月

(8)所属学会・団体

- ①社団法人日本理学療法士協会
- ②理学療法科学学会
- ③日本股関節学会

2020年度用 教員の情報公表内容

(1)氏 名 : 五味 雅大 (ゴミ マサヒロ)

(2)職 名 : 講師

(3)学 位 : 博士(保健医療学)

(4)資 格 : 理学療法士

(5)担 当 科 目 : 老年期障害理学療法学演習 義肢装具学実習 ケアマネジメント論
物理療法学総論 機能能力診断学実習 運動学実習 理学療法特講Ⅱ

(6)研究テーマ

- ① 高齢者における転倒予防
- ② 筋力測定

(7)研究業績等

- ① 論文 「横歩き時間と動的バランス能力との関連性について」 (共著) 理学療法科学学会 『理学療法科学』第 29 巻 5 号 2014 年 10 月
- ② 論文 「ハンドヘルドダイナモメーターとベルト用いた等尺性肩関節筋力測定値の妥当性 - 等速性筋力測定機器との比較 -」 (共著) 理学療法科学学会 『理学療法科学』第 30 巻 2 号 2015 年 4 月
- ③ 博士論文 「簡易型上肢筋力測定法の開発に関する研究 - ハンドヘルドダイナモメーターによる筋力測定法の再現性と妥当性 -」 (単著) 『国際医療福祉大学博士論文』 2015 年 3 月

(8)所属学会・団体

- ① 日本理学療法士協会
- ② 理学療法科学学会

2020年度用 教員の情報公表内容

(1)氏 名 : 源 裕介 (ミナモト ユウスケ)

(2)職 名 : 講師

(3)学 位 : 修士(スポーツ健康科学)

(4)資 格 : 理学療法士(認定理学療法士:運動器)
整形外科リハビリテーション学会認定指導員

(5)担 当 科 目 : 整形外科系障害理学療法学演習 スポーツ障害理学療法学演習
運動学Ⅰ 運動学Ⅱ 物理療法学総論(実習を含む) 理学療法特講Ⅰ
理学療法特講Ⅱ 発達障害理学療法学総論

(6)研究テーマ

- ① ランニング障害の発生要因と運動療法
- ② スポーツ障害・外傷における運動療法
- ③ 運動器疾患における運動療法

(7)研究業績等

- ① 論文「当院における中学生陸上競技選手の外傷・障害の傾向」(共著) 日本臨床スポーツ医学会誌 28巻2号 in press 令和2年4月
- ② 論文「大腿外側上顆における形態の個体差に関する一考察」(共著) 了徳寺大学研究紀要第14号 p85-91 令和2年3月
- ③ 論文「理学療法士が作成するパッド貼付型足底挿板における治療成績の傾向について」(単著) 了徳寺大学研究紀要 13号 p215-220 平成31年3月

(8)所属学会・団体

- ① 日本理学療法士協会(日本運動器理学療法学会・日本スポーツ理学療法学会)
- ② 整形外科リハビリテーション学会(評議員)
- ③ 日本臨床スポーツ医学会
- ④ 日本臨床バイオメカニクス学会
- ⑤ 日本股関節学会
- ⑥ 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会(JOSKAS)
- ⑦ 理学療法科学学会

2020年度用 教員の情報公表内容

(1)氏 名 : 兔澤 良輔 (トザワ リョウスケ)

(2)職 名 : 講師

(3)学 位 : 修士(リハビリテーション学)

(4)資 格 : 理学療法士

(5)担 当 科 目 : 理学療法評価学Ⅱ、基礎運動療法学、基礎運動療法学実習、運動学Ⅱ、
スポーツ障害理学療法学演習、日常生活活動学実習、理学療法特講Ⅰ、理学
療法特講Ⅱ、臨床教育実習Ⅰ(3年次)、臨床教育実習Ⅱ前期(4年次)、臨床
教育実習Ⅱ後期(4年次)

(6)研究テーマ

- ① 理学療法評価に関する研究
- ② 障害予防に関する研究
- ③ 徒手療法に関する研究

(7)研究業績等

- ① 論文 Grit in Community-Dwelling Older Adults with Low Back Pain Is Related to Self-Physical Training Habits. (共著) *PM&R* 2020年1月
- ② 論文 Absolute and relative reliability of lumbar interspinous process ultrasound imaging measurements (共著) *J Phys Ther Sci* 28(8) 2016年8月
- ③ 論文 Reliability and validity of an ultrasound-based imaging method for measuring interspinous process distance in the lumbar spine using two different index points. (共著) *J Phys Ther Sci* 27(7) 2015年7月

(8)所属学会・団体

- ① 日本理学療法士協会
- ② 日本臨床スポーツ医学会
- ③ 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会

2020年度用 教員の情報公表内容

(1)氏 名 : 町田 志樹 (マチダ シキ)

(2)職 名 : 講師

(3)学 位 : 博士(医学)

(4)資 格 : 理学療法士、認定理学療法士(学校教育)

(5)担 当 科 目 : 理学療法特講Ⅰ、理学療法特講Ⅱ、運動学Ⅰ、運動学Ⅱ、臨床運動学実習、
整形外科系障害理学療法学演習

(6)研究テーマ

- ① 初年次教育
- ② Remedial 教育
- ③ 解剖学

(7)研究業績等

- ① 著書『PTOT ビジュアルテキスト 専門基礎 解剖学』(単著) 医学書院 2018年12月
- ② 著書『町田志樹の聴いて覚える起始停止』(単著) 医学書院 2019年6月
- ③ 論文 Diversity of arterial branches in the crural and foot region as correlated with the relative thickness of the fibular and posterior tibial arteries. (単著)『順天堂醫事雑誌』61巻3号: 294-301 2015年3月

(8)所属学会・団体

- ① 日本理学療法士学会
- ② 大学マネジメント研究会
- ③ 日本マイオチューニングアプローチ学会

2020年度用 教員の情報公表内容

(1)氏 名 : 浅田 菜穂 (アサダ ナオ)

(2)職 名 : 講師

(3)学 位 : 修士(保健医療学)

(4)資 格 : 理学療法士

(5)担 当 科 目 : 整形外科系障害理学療法学演習、整形外科系障害理学療法学実習、
内部障害理学療法学実習、義肢装具学、理学療法特講Ⅱ

(6) 研究テーマ

- ①慢性疼痛の予防についての研究
- ②ソーシャルキャピタルについての研究
- ②ウイメンズリハビリテーションについての研究

(7)研究業績等

- ①論文「地域在住中高年者に対するフォローアップ型ロコモティブシンドローム予防教室の効果検証」(単著) 『国際医療福祉大学修士論文』 2017年3月
- ②論文「Hand-held Dynamometerを使用した背臥位での股関節外転筋力測定方法の信頼性についての検討」(共著) 『了徳寺大学研究紀要』 第11号 2017年3月
- ③報告「医療系大学生における月経に対する認識の性差と月経による日常生活、実習への影響」(共著) 『了徳寺大学研究紀要』 第12号 2018年3月

(8) 所属学会・団体

- ①日本理学療法士学会
- ②日本骨粗鬆症学会
- ③日本転倒予防学会

2020 年度用 教員の情報公表内容

(1)氏 名 : 荒井 沙織 (アライ サオリ)

(2)職 名 : 助教

(3)学 位 : 修士(保健医療学)

(4)資 格 : 理学療法士
認定理学療法士(脳卒中)

(5)担 当 科 目 : 神経系障害理学療法学、生理学実習、義肢装具学実習
内部障害理学療法学実習

(6)研究テーマ

- ① 脳卒中片麻痺に関する研究
- ② Pusher 症候群・高次脳機能障害(神経心理学的検査)に関する研究
- ③ 応用行動分析学に関する研究

(7)研究業績等

- ① 論文 「急性期 Pusher 症状に対する段階的難易度調整を用いた立位練習の検討」(共著)
『理学療法科学』33 巻 2 号 2018 年 4 月
- ② 論文 「脳卒中片麻痺患者におけるトイレ動作介助に必要な立位保持時間と高次脳機能障害の影響」(共著)了徳寺大学研究紀要 第 14 号 2020 年 4 月
- ③ 著書 「理学療法士・作業療法士のためのできる! ADL 練習」(共著) 南江堂 2016 年 6 月

(8)所属学会・団体

- ① 日本理学療法士協会
- ② 理学療法科学学会
- ③ 行動リハビリテーション研究会